

1 日未満で完了する作業の積算に関する特記仕様書

(適用条件)

第1条 建設工事積算基準第Ⅰ編「総則」第12章「1日未満で完了する作業の積算」(以下、当該基準という。)は変更積算に限り適用するものとする。

(適用範囲)

第2条 1日未満で完了する作業の積算は、当該基準に記載の施工パッケージを使用して積算する工事に限り適用するものとする。

(適用除外)

第3条 同一作業員の作業が他工種・細別の作業と組合せて1日作業となる場合には、当該基準は適用しない。

2 維持工事、災害復旧工事等で人工精算する場合、同積算基準第Ⅰ編第8章「時間的制約を受ける公共土木工事の積算」を適用して積算する場合等、当該基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、当該基準を適用しない。

(事前協議)

第4条 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があると認められる場合には、当該基準の適用について協議の発議を行うことができる。

2 前項の協議を行う場合は、施工計画書を提出する時点でなければならない。

(精算協議)

第5条 受注者は、協議に際して、当該基準に該当することを示す書面その他協議に必要な根拠資料(日報、見積書、契約書、請求書等)を監督職員に提出しなければならない。ただし、上記の根拠資料により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、当該基準を適用しない。

(施工箇所が点在する場合)

第6条 同積算基準第Ⅰ編第11章「施工箇所が点在する工事の積算」を適用して積算する場合、当該基準「3. 判定方法(3) 判定に使用する作業量の考え方」により、別箇所として扱う箇所は、各地区とする。